

民数記

2:3 前方、すなわち東側に宿営する者は、軍団ごとのユダの宿営の旗の者でなければならない。**ユダ族**の族長はアミナダブの子ナフションである。

2:5 その隣に宿営するのは**イッサカル部族**であり、イッサカル族の族長はツアルの子ネタンエルである。

2:7 その次はゼブルン部族で、**ゼブルン族**の族長はヘロンの子エリアブである。

2:10 南側は、軍団ごとのルベンの宿営の旗の者たちである。**ルベン族**の族長はシェデウルの子エリツルである。

2:12 その隣に宿営するのは**シメオン部族**で、シメオン族の族長はツリシャダイの子シェルミエルである。

2:14 その次はガド部族で、**ガド族**の族長はデウエルの子エルヤサフである。

2:17 次に会見の天幕、すなわち**レビ人**の宿営が、これらの宿営の中央にあつて進まなければならない。宿営する場合と同じように、彼らはそれぞれ自分の場に就いて、自分の旗に従って進まなければならない。

2:18 西側は、軍団ごとの**エフライム**の宿営の旗の者たちである。エフライム族の族長はアミフデの子エリシャマである。

2:20 その隣はマナセ部族で、**マナセ族**の族長はペダツルの子ガムリエルである。

2:22 その次はベニヤミン部族で、ベニヤミン族の族長はギデオニの子アビダンである。

2:25 北側は、軍団ごとのダンの宿営の旗の者たちである。ダン族の族長はアミシャダイの子アヒエゼルである。

2:27 その隣に宿営するのはアシエル部族で、アシエル族の族長はオ克蘭の子パグイエルである。

2:29 その次はナフタリ部族で、ナフタリ族の族長はエナンの子アヒラである。

3:1 これは、【主】がシナイ山でモーセと語られたときの、アロンとモーセの系図である。

3:4 ナダブとアビフは、シナイの荒野で【主】の前に異なる火を献げたときに、【主】の前で死んだ。彼らには子がいなかった。それでエルアザルとイタマルが父アロンの生存中から祭司として仕えた。

3:13 長子はすべて、わたしのものだからである。 エジプトの地でわたしがすべての長子を打った日に、わたしは、人から家畜に至るまで、イスラエルのうちのすべての長子をわたしのものとして聖別した。彼らはわたしのものである。わたしは【主】である。」

4:2 「レビ人のうち、ケハテ族の頭数を、その氏族ごと、一族ごとに調べよ。

@ = 箱を担ぐ (祭司ではない)

4:5 宿営が出発するときは、アロンとその子らが入って行って、仕切りの垂れ幕を取り降ろし、あかしの箱をそれでおおい、

4:12 聖所で務めに用いる用具をみな取り、青色の布の中に入れ、じゅごんの皮の覆いでそれをおおい、これを担ぎ台に載せ、

4:15 宿営が移動する際には、アロンとその子らが聖所と聖所のすべての用具をおおい終わってから、その後でケハテ族が入って行って、これらを運ばなければならない。彼らが聖なるものに触れて死ぬことのないようにするためである。これらは、会見の天幕でケハテ族が運ぶ物である。

4:34 そこでモーセとアロンと会衆の上に立つ族長たちは、ケハテ族をその氏族ごと、一族ごとに、

④箱を担う人（民数記 7:9）しかしケハテ族には何も与えなかった。彼らの聖なるものに関わる奉仕は、肩に担いで運ぶことだったからである。

。5:7 自分が行った罪を告白しなければならない。その人は償いとして総額を弁償し、それにその五分の一を加えて、償いの責めを果たすべき相手に支払わなければならない。

告白＝ワドゥ ◀ 3034. yadah(יָדָה) 114 回 ▶ 感謝する 67 回、賛美する 19 回、告白 16 回、

(NAS)(KJV): confess

現代語 confession = (google)ホダア(הוֹדָא)

6:3 その人は、ぶどう酒や強い酒を断たなければならない。ぶどう酒の酢や強い酒の酢を飲んではならない。また、ぶどう汁をいっさい飲んではならない。ぶどうの実の生のものも、干したのもも食べてはならない

強い酒＝◀ 7941. Shekar(שֶׁכָר)(シェハール) 23 回 ▶ 強い酒

@美香が断食中に、泡盛から作られた酢を飲んで気分が悪くなった。
それでこれはいったいないかと主にたずねたらこの箇所が示された。

6:23 「アロンとその子らに告げよ。『あなたがたはイスラエルの子らに言って、彼らをこのように**祝福しなさい**。』

祝福する=バラク◀ 1288. (ברך)barak 330 回▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

6:24 【主】があなたを**祝福し**、あなたを守られますように。

6:25 【主】が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

6:26 【主】が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』

@ (口) では「主が」の後に「願わくば」という言葉が挿入

@ (詩篇 67:1 どうか神が私たちをあわれみ祝福し御顔を私たちの上に照り輝かせてくださいますように。セラ

@ (詩篇 80:3 神よ私たちを元に戻し御顔を照り輝かせてください。そうすれば私たちは救われます。

。

6:27 アロンとその子らが、わたしの名をイスラエルの子らの上に置くなら、わたしが彼らを**祝福する**。」

@ヤコブ < レビ (3 人の子) < ゲルシオン、メラリ、ケハテ

7:9 しかしケハテ族には何も与えなかった。彼らの聖なるものに関わる奉仕は、肩に担いで運ぶことだったからである..

@奉仕をするものは全員がレビ人でなければならないが、全員が祭司ではない。
アロンの子孫だけが祭司

。 7:89 モーセは、主と語るために会見の天幕に入ると、あかしの箱の上にある「宥めの蓋」の上から、すなわち二つのケルビムの間から、彼に語られる御声を聞いた。主は彼に語られた。

間 = ◀ 5921. al (אֵל)(アル) 5778 回 ▶ (前置詞) 上に、上方に upon, above, over

創 1:2 地は茫漠として何もなく、闇が大水の面の上にあり、神の霊がその水の面を動いていた。

@ 2つとも手を上げている

8:17 イスラエルの子らのうちでは、人でも家畜でも、すべての長子はわたしのものである。エジプトの地で、わたしがすべての長子を打った日に、わたしは彼らを聖別してわたしのもとした。

8:18 わたしは、イスラエルの子らのうちのすべての長子の代わりにレビ人を取った。

@ レビ人が特別なのは、彼らを初子としたからです。

8:26 その人はただ、会見の天幕で、自分の同族の者が任務に当たるのを助けることはできるが、自分で奉仕をしてはならない。あなたはレビ人に、彼らの任務に関してこのようにしなければならない。

助ける = ◀ 8104. shamar (שמר) 469 回 (shaw-mar') ▶ 見張る、保存する、

創 2:15 神である【主】は人を連れて来て、エデンの園に置

き、そこを耕させ、また守らせた。

聞くのシヤマは◀ 8085. shama (שמע)1160 回(shaw-mah)▶

10:9 また、あなたがたの地で、自分たちを襲う侵略者との戦いに出るときには、ラッパを短く大きく吹き鳴らす。あなたがたが、自分たちの神、【主】の前に覚えられ、敵から救われるためである。(改 4)

短く大きく吹き鳴らす=◀ 7321.(רוע) rua 45 回▶(NAS) shall sound an alarm (KJV) shall blow an alarm

(改 2)には「大きく」という言葉はない

10:29 さて、モーセは、彼のしゅうとミディアン人レウエルの子ホバブに言った。「私たちは、【主】が与えると言われた場所へ旅立つところです。私たちと一緒に行きましょう。私たちはあなたを幸せにします。【主】がイスラエルに良いことを約束しておられるからです。」

ホバブ=異邦人

10:30 彼はモーセに答えた。「私は行きません。私の国に、私の親族のもとに帰ります。」

10:31 するとモーセは言った。「どうか私たちを見捨てないでください。というのは、あなたは、私たちが荒野のどこで宿営したらよいかご存じで、私たちにとっては目なのですから。」

@道を知るために異邦人に懇願するモーセ

10:32 私たちと一緒に行ってくだされば、【主】が私たちに下さるはずのどんな良きものも、あなたにお分かちできます。」

良きもの=hattowb(定冠詞付き)

良きもの=◀ 2896. Towb(טוב) 562 回▶ 良い、心地よい

10:33 こうして、彼らは【主】の山を旅立ち、三日の道のりを進んだ。【主】の契約の箱は三日の道のりの間、彼らの先に立って進み、彼らが休息する場所を探した。

@休息の場所= (へ) メヌハー

@イエスはイスラエルより三日先

@2000 キュビット先

(ヨシュア 3:4 あなたがたと箱との間には、約二千キュビットの距離をおかなければならない。それに近づいてはならない。それは、あなたがたの行くべき道を知るためである。あなたがたは、今までこの道を通ったことがないからだ。)

10:34 彼らが宿営から出発する際、昼間は【主】の雲が彼らの上にあった。

10:35 契約の箱が出発するときには、モーセはこう言った。「【主】よ、立ち上がってください。あなたの敵が散らされ、あなたを憎む者が、御前から逃げ去りますように。」

10:36 またそれがとどまるときには、彼は言った。「【主】よ、お帰りください。イスラエルの幾千幾万もの民のもとに。」

詩編 132:8 【主】よ立ち上がってください。あなたの安息の場所にお入りください。あなたとあなたの御力の箱も。

11:2 すると民はモーセに向かってわめき叫んだ。それで、モーセが【主】に

祈ると、その火は消えた。

祈る = ◀ 6419. palal (𐤑𐤕) 84 回 ▶ (V) 干渉する、とりなしする、祈る

11:4 彼らのうちに混じって来ていた者たちは激しい欲望にかられ、イスラエルの子らは再び大声で泣いて、言った。「ああ、肉が食べたい。

彼らのうちに混じって来ていた者たち = 異国人

民数記 12:38 さらに、入り混じって来た多くの異国人と、羊や牛などおびただしい数の家畜も、彼らとともに上った。

11:23 【主】はモーセに答えられた。「この【主】の手が短いというのか。わたしのことばが実現するかどうかは、今に分かる。」

11:25 すると【主】は雲の中にあって降りて来て、モーセと語り、彼の上にある霊から一部を取って、その七十人の長老に与えられた。その霊が彼らの上にとどまると、彼らは預言した。しかし、重ねてそれをすることはなかった。

彼らは預言した。 = (改 2) 彼らは恍惚状態で預言した。

@原文には「恍惚状態」はない。(改 3)にはすでに無かった

11:26 そのとき、二人の者が宿営に残っていた。一人の名はエルダデ、もう一人の名はメダデであった。彼らの上にも霊がとどまった。彼らは長老として登録された者たちだったが、天幕へは出て行かなかったのである。彼らは宿営の中で預言した。」

@「天幕へは出て行かなかった」 = 油注ぎは選びであり、どこにいたかでない

11:27 それで、一人の若者が走って来て、モーセに告げた。「エルダデとメダデが宿営の中で預言しています。」

11:28 若いときからモーセの従者であったヌンの子ヨシュアは答えて言った。「わが主、モーセよ。彼らをやめさせてください。」

ヨシュアは答えて言った=(改2)ヨシュアも答えて言った

11:29 モーセは彼に言った。「あなたは私のためを思って、ねたみを起こしているのか。【主】の民がみな、預言者となり、【主】が彼らの上にご自分の霊を
与えられるとよいのに。」

与えられるとよいのに=@

(共) 11:29 モーセは彼に言った。「あなたはわたしのためを思ってねたむ心を起こしているのか。わたしは、主が霊を授けて、主の民すべてが預言者になればよいと切望しているのだ。」

(協共) 11:29 モーセは言った。「あなたは私のために妬みを起こしているのか。私はむしろ、主の民すべてが預言者になり、主がご自身の霊を彼らの上に与えてくださればよいと望んでいるのだ。」

民 12:1 そのとき、ミリアムとアロンは、モーセが妻としていたクシュ人の女
のことで彼を非難した。モーセがクシュ人の女を妻としていたからである。

「彼を非難した」=原語では女性が主語で単数形なので (?要確認)、ミリアムが主となって非難した。(?)

モーセと主との関係は他の者とは度合いが違うことを理解していない

@クシュ人の女を妻としていた=個人の事 (境界線がない)

12:2 彼らは言った。「【主】はただモーセとだけ話されたのか。われわれとも話されたのではないか。」【主】はこれを聞かれた。

【主】はただモーセとだけ話されたのか。われわれとも話されたのではないか
=ミニストリーの事

@彼らは私生活とミニストリーを混同していた

12:3 モーセという人は、地の上のだれにもまさって柔和であった。

12:3 モーセという人は、地の上のだれにもまさって**柔和**であった。

@ ◀ 6035.(אָנָּב) anav 20 回 ▶ Definition: poor, afflicted, humble, meek

柔和=(改 2)謙遜

@この文を書いたのはモーセである、主が書けと言った事を書いた。
自分で謙遜と書けるのは彼がとても従順だったことを意味している。

@多くの場合(改 4)では貧しい人、(KLV)では humble, meek と訳される。

12:6 主は言われた。「聞け、わたしのことばを。もし、あなたがたの間に預言者がいるなら、【主】であるわたしは、幻の中でその人にわたし自身を知らせ、夢の中でその人と語る。

アモ 3:7 まことに、【神】である主は、ご自分の計画を、そのしもべである預言者たちに示さずには、何事もなさらない。

12:7 だがわたしのしもべモーセとはそうではない。彼はわたしの全家を通じて忠実な者。

@この言葉は神自身の宣言である。

忠実な=◀ 539. aman 108 回▶信じる、確かにする、(ヘブライ語で信じるを意味する一般的な言葉)

確かな(1サム 2:35)(詩 89:28)、堅く建てる(1サム 3:20)(2サム 7:16)(1王 8:26)

ほんとうだということがわかる(Ge42:20)

忠実な(民 12:7)、長く続く(申 28:59)、

養い育てる(ルツ 4:16)、養育する(エステル 2:7)

乳母(nurse)の語源(2サム 4:4)、わきに抱かれて(イザヤ 60:4)

おぼつく(申 28:66)、当てにする(エレ 15:18)

12:13 モーセは【主】に叫んだ。「神よ、どうか彼女を癒やしてください。」

@ (RV) どうか、今、彼女を @ただし原文には無い

12:14 しかし【主】はモーセに言われた。「もし彼女の父が彼女の顔に唾したら、彼女は七日間、恥をかかされることにならないか。彼女を七日間、宿営の外に締め出しておかなければならない。その後で彼女は戻ることができる。」

@とりなしを聞かれた(いやされた)がミリアムはとりあつかい(7日間)がひつよう。 人間的な思い(憐れみ)でその懲らしめを減らしてはならない

創世記:

ルベン、シメオン、レビ、ユダ、

ダン、ナフタリ、ガド、アシェル、イッサカル、ゼブルン、ヨセフ、ベニヤミン、

マナセ、エフライム

民数記 13 章

ルベン、シメオン、レビ、ユダ、
ダン、ナフタリ、ガド、アシェル、イッサカル、ゼブルン、ヨセフ、ベニヤミン、
マナセ、エフライム

黙示録

ルベン、シメオン、レビ、ユダ、
ダン、ナフタリ、ガド、アシェル、イッサカル、ゼブルン、ヨセフ、ベニヤミン、
マナセ、エフライム

民数記13章には レビ がなく マナセ(ヨセフ) がある
黙示録には ダン、エフライム がなく ヨセフ マナセ がある

13:2 「人々を遣わして、わたしがイスラエルの子らに与えようとしているカナンをの地を偵察させよ。父祖の部族ごとに一人ずつ、**族長**を遣わさなければならない。」

13:6 ユダ部族からはエフンネの子**カレブ**。

@当時 40 歳(ヨシュア 14:10)、、、、荒野を歩いた四十五年間、、、今や私は、、、八十五歳、、、

@割り当てられたすべての約束の地を所有した唯一の人。

ヨシュア 14:11 モーセが私を遣わした日と同様に、今も私は壮健です。私の今の力はあの時の力と変わらず、戦争にも日常の出入りにも耐えうるものです。

14:12 今、【主】があの日語られたこの山地を、私に与えてください。そこにアナク人がいて城壁のある大きな町々があることは、あの日あなたも聞いていることです。しかし【主】が私とともにいてくだされば、【主】が約束されたように、私は彼らを追い払うことができ

ます。」

14:13 ヨシュアはエフンネの子カレブを祝福し、彼にヘブロンを相続地として与えた。

14:14 このようにして、ヘブロンはケナズ人エフンネの子カレブの相続地となった。今日もそうである。彼がイスラエルの神、【主】に従い通したからである。

民 13:8 エフライム部族からはヌンの子 ホセア。

13:16 以上が、モーセがその地の偵察のために遣わした者の名である。モーセはヌンの子ホセアをヨシュアと名づけた。

13:23 彼らはエシュコルの谷まで来て、そこでぶどうが一房ついた枝を切り取り、二人で棒で担いだ。また、ざくろやいちじくの木からも切り取った。

@否定的な人は全てが否定的に見える。

ヨシュアとカレブは大きなブドウを見て大きな祝福を見たが。他の人達は大きなブドウを

食べている巨人を見て（想像して）恐れた。

13:30 そのとき、カレブがモーセの前で、民を静めて言った。「私たちはぜひとも上って行って、そこを占領しましょう。必ず打ち勝つことができます。」

14:2 イスラエルの子らはみな、モーセとアロンに不平を言った。全会衆は彼らに言った。「われわれはエジプトの地で死んでいたらよかった。あるいは、この荒野で死んでいたらよかったのだ。」

14:2 「この荒野で死んでいたらよかったのだ」
たった10人の不信仰が何十何人もの人を迷わせた

@告白したその通りになった

@民14:28) 14:28 彼らに言え。わたしは生きている——【主】のことば——。わたしは必ず、おまえたちがわたしの耳に語ったとおりに、おまえたちに行く。

@ヨシュア 21:45 【主】がイスラエルの家に告げられた良いことは、一つもたがわず、すべて実現した。

14:3 なぜ【主】は、われわれをこの地に導いて来て、剣に倒れるようにされるのか。妻や子どもは、かすめ奪われてしまう。エジプトに帰るほうが、われわれにとって良くはないか。」。

14:8 もし【主】が私たちを喜んでおられるなら、私たちをあの地に導き入れ、それを私たちに下さる。あの地は乳と蜜が流れる地だ。

喜んでおられるなら=(改 2)御心にかなえば ただし原文は(改 4)が正しい。

◀ 2654. chaphets (חָפֵּץ)(ハフェツ)75回▶ Definition: to delight in

14:9 ただ、【主】に背いてはならない。その地の人々を恐れてはならない。彼らは私たちの餌食となる。彼らの守りは、すでに彼らから取り去られている。【主】が私たちとともにおられるのだ。彼らを恐れてはならない。」

14:12 わたしは彼らを疫病で打ち、ゆずりの地を剥奪する。しかし、わたしはあなたを彼らよりも強く大いなる国民にする。」

国民=◀ 1471. goy 561回▶国、民

単数形ではイスラエルを表す(出 19:6)(出 33:13)(民 14:12)

複数形だと「異邦の民」と訳すことによって外国人を表す

@モーセの本心を試している。

@モーセはこの後 40 日 40 夜とりなしをした。

(申命記 9:25 それで私は、その四十日四十夜、【主】の前にひれ伏していた。それは、【主】があなたがたを根絶やしにすると言われたからである。

14:14 この地の住民に告げるでしょう。事実、住民たちは聞いています。あなた、【主】がこの民のうちにおられ、あなた、【主】が目の当たりにご自身を現されること、またあなたの雲が彼らの上に立ち、あなたが昼は雲の柱、夜は火の柱の内であって、彼らの前を歩いておられることを。

14:15 もし、あなたがこの民を一人残らず殺すなら、あなたのうわさを聞いた異邦の民は、このように言うに違いありません。

14:16 『【主】はこの民を、彼らに誓った地に導き入れることができなかつたので、荒野で殺したのだ』と。

14:17 どうか今、あなたが語られたように、わが主の大きな力を現してください。あなたは言われました。

14:18 『【主】は怒るのに遅く、恵み豊かであり、咎と背きを赦す。しかし、罰すべき者を必ず罰し、父の咎を子に報い、三代、四代に及ぼす』と。

14:19 この民をエジプトから今に至るまで耐え忍んでくださったように、どうかこの民の咎をあなたの大きな恵みによって赦してください。」

14:24 ただし、わたしのしもべカレブは、ほかの者とは違った霊を持ち、わたしに従い通したので、わたしは、彼が行って来た地に彼を導き入れる。彼の子孫はその地を所有するようになる。

霊 = ◀ 7307. ruach (רוּחַ) 377 回 ▶ 霊、風、息

14:28 彼らに言え。わたしは生きている——【主】のことば——。わたしは必

ず、おまえたちがわたしの耳に語ったとおりに、おまえたちに行く。

@告白したことはひとつもたがわずにみな実現した。

肯定的な告白：(ヨシュア@21:45 【主】がイスラエルの家に告げられた良いことは、一つもたがわず、すべて実現した。

否定的な告白：(民数記 14:2 イスラエル人はみな、モーセとアロンにつぶやき、全会衆は彼らに言った。「私たちはエジプトの地で死んでいたらよかったのに。できれば、この荒野で死んだほうがまだ。

14:29 この荒野におまえたちは、屍をさらす。わたしに不平を言った者で、二十歳以上の、登録され数えられた者たち全員である。

14:35 【主】であるこのわたしが言う。一つになってわたしに逆らったこの悪い会衆のすべてに対して、わたしは必ずこうする。この荒野で彼らは死に絶える。

14:40 翌朝早く、彼らは山地の峰の方に上って行こうとして言った。「われわれはここにいるが、とにかく【主】が言われた場所へ上って行ってみよう。われわれは罪を犯してしまったのだ。」

@われわれは常に御心を求めなければならない、たとえ以前語った言葉でも今その時に有効とはかぎらない。

@一見悔い改めに見えるが実際は責めの思いによって決断した。

14:41 モーセは言った。「あなたがたはいったいなぜ、【主】の命令を破ろうとするのか。それは成功しない。

14:42 上って行つてはならない。【主】があなたがたのうちにおられないのだから。あなたがたは敵に打ち負かされてはならない。

@この時点ではもう御心ではなく、悲劇となった。

@ロトも先に山に逃げろといわれた。そのときには従わず、後に行ったがもう御心ではなかった。

創世記 19:30 ロトはツォアルから上って、二人の娘と一緒に、山の上に住んだ。ツォアルに住むのを恐れたからである。彼と二人の娘は洞穴の中に住んだ。

14:44 しかし、彼らはかまわずに山地の峰の方に上って行った。【主】の契約の箱とモーセは、宿営の中から動かなかった。

@出エジプト 33:15 モーセは言った。「もしあなたのご臨在がともに行かないのなら、私たちをここから導き上らないください。

@申命記 1:43 私があなたがたにこう告げたのに、あなたがたは聞かず、【主】の命に逆らい、不遜にも山地の上って行った。

創世記 19:30 ロトはツォアルから上って、二人の娘と一緒に、山の上に住んだ。ツォアルに住むのを恐れたからである。彼と二人の娘は洞穴の中に住んだ。

16:4 モーセはこれを聞いてひれ伏した。

@問題があったときにまず主の元に行く

16:37 「あなたは、祭司アロンの子エルアザルに命じて、炎の中から火皿を取り出し、火を遠くにまき散らせよ。それらは聖なるものとなっているから。

16:48 彼が死んだ者たちと生きている者たちとの間に立ったとき、主の罰は終

わった。

18:20 【主】はまたアロンに言われた。「あなたは彼らの地で相続地を持ってはならない。彼らのうちに何の割り当て地も所有してはならない。イスラエルの子らの中であって、わたしがあなたへの割り当てであり、あなたへのゆずりである。

ゆずり=◀ 5157. nachal (נַחַל) 58回▶(V) 所有する 。所有、所有地

この単語の派生語は現在、Israeli settlement 入植地の意味で使用されている。

הַתְּנַחֲלוֹת

ヒツナハルーツ

。

20:7 【主】はモーセに告げられた。

20:8 「杖を取れ。あなたとあなたの兄弟アロンは、会衆を集めよ。あなたがたが彼らの目の前で岩に命じれば、岩は水を出す。彼らのために岩から水を出して、会衆とその家畜に飲ませよ。」

20:9 そこでモーセは、主が彼に命じられたとおりに、【主】の前から杖を取った。

20:10 モーセとアロンは岩の前に集会を召集し、彼らに言った。「逆らう者たちよ。さあ、聞け。この岩から、われわれがあなたがたのために水を出さなければならないのか。」

20:11 モーセは手を上げ、彼の杖で岩を二度打った。すると、豊かな水が湧き出たので、会衆もその家畜も飲んだ。

20:12 しかし、【主】はモーセとアロンに言われた。「あなたがたはわたしを信頼せず、イスラエルの子らの見ている前でわたしが聖であることを現さなかった。それゆえ、あなたがたはこの集会を、わたしが彼らに与えた地に導き入れ

ることはできない。」

(改 4)わたしを信頼せず = (改 2)わたしを信ぜず

◀ 539. Aman (אָמָן) 108 回 ▶ 確かにする、支える

(改 4)聖であることを現さなかった = (改 2)聖なるものとしなかった

◀ 6942. qadash (קָדָשׁ) 175 回 ▶

民数記 20:10 モーセとアロンは岩の前に集会を召集し、彼らに言った。「逆らう者たちよ。さあ、聞け。この岩から、われわれがあなたがたのために水を出さなければならないのか。」

民数記 20:12 しかし、【主】はモーセとアロンに言われた。「あなたがたはわたしを信頼せず、イスラエルの子らの見ている前でわたしが聖であることを現さなかった。それゆえ、あなたがたはこの集会を、わたしが彼らに与えた地に導き入れることはできない。」

民数記 20:14 さて、モーセはカデシュからエドムの王のもとに使者たちを遣わして言った。「あなたの兄弟、イスラエルはこう申します。あなたは私たちに降りかかったすべての困難をご存じです。」

民数記 27:14 ツインの荒野で会衆が争ったとき、あなたがたがわたしの命令に逆らい、彼らの見ている前で、あの水のところで、わたしが聖であることを現さなかったからである。これはツインの荒野のメリバテ・カデシュの水のことである。

申 3:26 しかし【主】はあなたがたのゆえに私に激しく怒り、私の願いを聞き入れてくださらなかった。【主】は私に言われた。「もう十分だ。このことについて二度とわたしに語ってはならない。」

申命記 32:51 それは、あなたがたがツインの荒野のメリバテ・カデシュの水のほとりで、イスラエルの子らの間でわたしの信頼を裏切り、イスラエルの子らの間で、わたしを聖なる者としなかったからである。

詩篇 106:32 彼らはメリバの水のほとりで主を怒らせた。モーセは彼らのゆえにわざわいを被った。

106:33 彼らが主の御霊に逆らったとき彼が軽率なことを口にしたのである。

@モーセが約束の地に入れなかったのは、彼の失言による

@モーセは主の奇跡を、自分がやったかのように言った為に裁かれた(民20:10)

詩篇 106:32 彼らはメリバの水のほとりで主を怒らせた。モーセは彼らのゆえにわざわいを被った。

民数記 20:12 しかし、【主】はモーセとアロンに言われた。「あなたがたはわたしを信頼せず、イスラエルの子らの見ている前でわたしが聖であることを現さなかった。それゆえ、あなたがたはこの集会を、わたしが彼らに与えた地に導き入れることはできない。」

@モーセの問題点

(1) 主を聖なる者としなかった(20:12)

民数記 20:14 さて、モーセはカデシュからエドムの王のもとに使者たちを遣わして言った。「あなたの兄弟、イスラエルはこう申します。あなたは私たちに降りかかったすべての困難をご存じです。

(2) 軽率な事を口にした。

詩篇 106:33 彼らが主の御霊に逆らったとき彼が軽率なことを口に

したのである。

(共) 詩 106:33 彼らがモーセの心を苦しめたので／彼がそれを唇にのせたからであった。

民 20:10 モーセとアロンは岩の前に集会を召集し、彼らに言った。「逆らう者たちよ。さあ、聞け。この岩から、われわれがあなたがたのために水を出さなければならないのか。」

(3) 命令に逆らった

27:14 ツィンの荒野で会衆が争ったとき、あなたがたがわたしの命令に逆らい、彼らの見ている前で、あの水のところで、わたしが聖であることを現さなかったからである。」これはツィンの荒野のメリバテ・カデシュの水のことである。

岩に命ぜよと言われていたのに命じなかった

民数記 20:8 「杖を取れ。あなたとあなたの兄弟アロンは、会衆を集めよ。あなたがたが彼らの目の前で岩に命じれば、岩は水を出す。彼らのために岩から水を出して、会衆とその家畜に飲ませよ。」

20:11 モーセは手を上げ、彼の杖で岩を二度打った。すると、豊かな水が湧き出たので、会衆もその家畜も飲んだ。

岩を二度打った

私はこの解釈は正しくないと思うが、広く一般に支持されている。問題点は打ったことではなく命じなかったことにあると思う。

以前成功した方法（出 17 : 6）を現在も宗教的に形だけ用いた。

出 17:6 さあ、わたしはそこ、ホレブの岩の上で、あなたの前に立つ。

あなたはその岩を打て。岩から水が出て、民はそれを飲む。」モーセはイスラエルの長老たちの目の前で、そのとおりに行った。

	出 17 レデ イム・ホレ ブ	民 20 メリバ カディシ ユ
主の命令	岩を打て	岩に命ぜよ
モーセ行動	岩を打った	2度打った
問題点		岩に命じなかった 不遜なことを語った 主を信じなかった

21:5 神とモーセに逆らって言った。「なぜ、あなたがたはわれわれをエジプトから連れ上って、この荒野で死なせようとするのか。パンもなく、水もない。われわれはこのみじめな食べ物に飽き飽きしている。」

@ 毎日奇跡を見ていたにもかかわらず

21:6 そこで【主】は民の中に燃える蛇を送られた。蛇は民にかみついたので、イスラエルのうちの多くの者が死んだ。

確かにこれは偶像ではなく聖なるものであるが
拝んではいけない

同様にキリストの十字架像も拝んではならない

燃える蛇 = ◀ 8314. saraph(שרף)7回 ▶ 燃える

2列王記 18:4 高き所を取り除き、石の柱を打ち砕き、アシェラ像を切り倒し、モーセが作った青銅の蛇を砕いた。そのころまで、イスラ

エル人がこれに犠牲を供えていたからである。これはネフシュタンと呼ばれていた。

イザヤ書 6 章 2 節と 6 節で御使いの「セラフィム」と訳された以外は「燃える」あるいは「燃えるへビ」と翻訳されている。

民 21:6 そこで【主】は民の中に燃える蛇を送られた。蛇は民にかみついたので、イスラエルのうちの多くの者が死んだ。
han·nə ·hā·šîm **has·sə ·rā·p̄·îm**, ハ・ナハシム・ハ・セラフィム
蛇 = ◀ 5175. nachash ▶ 蛇

民 21:8 すると【主】はモーセに言われた。「あなたは燃える蛇を作り、それを旗ざおの上に付けよ。かまれた者はみな、それを仰ぎ見れば生きる。」

@蛇という単語は原語には無い

あるいは、「sā·rāp̄」一言で「燃える蛇」を意味すると訳するべきか？

おそらくそうだ。イザヤ 14:29 と 30:6 ではそう訳されているのです。

申 8:15 燃える蛇やサソリのいるあの大きな恐ろしい荒野、水の無い乾ききった地を通らせ、硬い岩からあなたのために水を流れ出させ、蛇 = ◀ 5175. nachash (נָחָשׁ)31 回 ▶ 蛇

nā hāš **sā·rāp̄**, ナハシシュ・セラフ

@蛇を意味するナハシシュという言葉がセラフィムの前についている。

イザ 14:29 「喜ぶな、ペリシテの全土よ。おまえを打った杖が折られたからといって。蛇の根からまむしが出て、その実は、飛び回る

燃える蛇となるのだから。

@蛇という単語は原語には無い

イザ 30:6 ネゲブの獣についての宣告。「苦難と苦悩の地を通り、雌獅子や雄獅子、まむしや、飛び回る**燃える蛇**のいるところを通り、彼らはその財宝をろばの背に載せ、宝物をらくだのこぶに載せて、役にも立たない民のところへ運ぶ。

21:7 民はモーセのところに来て言った。「私たちは【主】とあなたを非難したりして、罪を犯しました。どうか、蛇を私たちから取り去ってくださるよう【主】に祈ってください。」モーセは民のために祈った。

祈って= ◀ 6419. palal (פָּלַל) 84 回 ▶ (V)干渉する、とりなしする、祈る

21:8 すると【主】はモーセに言われた。「あなたは**燃える蛇**を作り、それを旗ざおの上に付けよ。かまれた者はみな、それを仰ぎ見れば生きる。

21:9 モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを旗ざおの上に付けた。**蛇が人を**かんでも、その人が青銅の蛇を仰ぎ見ると生きた。

@ (2列王記 18:4) 18:4 高き所を取り除き、石の柱を打ち砕き、アシェラ像を切り倒し、モーセが作った青銅の蛇を砕いた。そのころまで、イスラエル人がこれに犠牲を供えていたからである。これはネフシュタンと呼ばれていた。

@かつての主の御業であったとしても、それに固執してはいけない。物は象徴に過ぎない。

21:17 そのとき、イスラエルはこの歌を歌った。「井戸よ、湧きいでよ。あなたがたは、これに向かって歌え。

21:18 笏をもって、杖をもって、君主たちが掘り、民の尊き者たちが掘り下げたその井戸に。」彼らは荒野からマタナに進み、

@うがつ＝（うが・つ【穿つ】[動タ五（四）]《上代は「うかつ」》1 穴をあける。掘る。また、突き通す。貫く。）

22:5 バラム」

22:5 同族の国にある、あの大河のほとりのペトルにいるベオルの子バラムを招こうと、使者たちを遣わして言った。「見なさい。一つの民がエジプトから出て来た。今や、彼らは地の面をおおい、私の目の前にいる。

ユダ 1:11 わざわいだ。彼らはカインの道を行き、利益のためにバラムの迷いに陥り、コラのように背いて滅びます。

2ペテロ 2:15 彼らは正しい道を捨てて、さまよっています。ベオルの子バラムの道に従ったのです。バラムは不義の報酬を愛しましたが、

@バラムは主の祝福を願ったが切り殺された

民 23:10 だれがヤコブのちりを数え、イスラエルの四分の一さえ数えられるだろうか。私が心の直ぐな人たちの死を遂げますように。私の最期が彼らと同じようになりますように。」

ヨシ 13:22 これらの刺し殺された者に加えて、ベオルの子、占い師バラムをイスラエルの子らは剣で殺した。

22:6 今来て、私のためにこの民をのろってもらいたい。この民は私より強い。そうしてくれれば、おそらく私は彼らを討って、この地から追い出すことがで

きるだろう。あなたが**祝福する**者は**祝福され**、あなたがのろう者はのろわれることを、私はよく知っている。」

22:12 神はバラムに言われた。「あなたは彼らと一緒に行ってはならない。また、その民をのろってもいけない。その民は**祝福されて**いるのだから。」

呪う = ◀ 779.(ארר) arar 63 回 ▶ 呪う

祝福する = バラク ◀ 1288. (ברך) barak 330 回 ▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)

22:17 私はあなたを**手厚くもてなします**。また、あなたが私に言いつけられることは何でもします。どうか来て、私のためにこの民に呪いをかけてください。』

手厚くもてなします = (確かに) + (あなたを尊敬します。) どちらの単語も
◀ 3513. kabad (כָּבַד) 115 回 ▶ (V)重たくする、尊敬する

創 18:20 【主】は言われた。「ソドムとゴモラの叫びは非常に大きく、彼らの罪はきわめて重い。

創 34:19 この若者は、ためらわずにそれを実行した。彼はヤコブの娘を愛していたからである。彼は父の家のだれよりも敬われていた。

創 48:10 イスラエルは老齢のために目がかすんでいて、見ることができなかった。それで、ヨセフが彼らを父のところに近寄らせると、父は彼らに口づけして抱き寄せた。

出 8:15 ところが、ファラオは一息つけると思うと、心を硬くし、彼らの言うことを聞き入れなかった。【主】が言われたとおりであった。

22:18 しかし、バラムはバラクの家臣たちに答えた。「たとえバラクが銀や金で満ちた彼の家をくれても、私は私の神、【主】の命を破ることは、事の大小にかかわらず、断じてできません。

22:20 夜、神はバラムのところに来て、彼に言われた。「この者たちがあなたを招きに来たのなら、立って彼らと一緒にいけ。だが、あなたはただ、わたしがあなたに告げることだけを行え。」

。

@多分この解釈は間違い

@ (別) 彼らがもう一度あなたを招きに来たのなら。

もう一度来ていないのにいく決心をした。=都合よく拡大解釈

22:31 そのとき、【主】はバラムの目の覆いを除かれた。すると彼は、【主】の使いが道に立ちほだかり、抜き身の剣を手に持っているのを見た。彼はひざまずき、伏し拝んだ。

ひざまづく=カダド ◀ 6915. qadad (קדד) 15回 ▶ おじぎする、ひざまづく

伏し拝んだ=(顔を落として)シャハーした ◀ 7812. shachah (שחח) (172回) ▶

ひざまづく、礼拝する、礼をする

22:32 【主】の使いは彼に言った。「何のために、あなたは自分のろばを三度も打ったのか。わたしが敵対者として出て来ていたのだ。あなたがわたしの道を踏み外していたからだ。

@主の使い

ヨシュア 5:13 ヨシュアがエリコにいたとき、目を上げて見ると、一人の人が抜き身の剣を手に持って彼の前方に立っていた。ヨシュアは彼のところへ歩み寄って言った。「あなたは私たちの味方ですか、それとも敵ですか。」

第1 歴代誌 21:16 ダビデが目を上げると、【主】の使いが地と天の間に立ち、抜き身の剣を手に持って、エルサレムの上に伸ばしているのを見た。ダビデと長老たちは粗布で身をおおい、ひれ伏した。

23:10 だれがヤコブのちりを数え、イスラエルの四分の一さえ数えられるだろうか。私が心の直ぐな人たちの死を遂げますように。私の最期が彼らと同じようになりますように。」

@私が心の直ぐな人たちの死を遂げますように=(改 2) 私は正しい人が死ぬように死に

@実際には切り殺された。

ヨシ 13:22 これらの刺し殺された者に加えて、ベオルの子、占い師バラムをイスラエルの子らは剣で殺した。

23:11 バラクはバラムに言った。「あなたは私に何ということをしたのですか。私の敵に呪いをかけてもらうためにあなたを連れて来たのに、今、あなたはただ祝福しただけです。」

呪う = ◀ 779. (ארר) arar 63 回 ▶ 呪う

祝福する = バラク ◀ 1288. (ברך) barak 330 回 ▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回ほめる(改 4)。

23:20 見よ、私は、祝福せよとの命を受けた。神が祝福されたのだ。私はそれをくつがえすことはできない。

23:21 ヤコブの中に不法は見出されず、イスラエルの中に邪悪さは見られない。彼らの神、【主】は彼らとともにおられ、王をたたえる声が彼らの中にある。

不法 = ◀ 205. aven (אָפּען) 78 回 ▶ 悪、邪悪、

邪悪さ = ◀ 5999. amal (אָמל) 55 回 ▶

23:21 ヤコブの中に**不法**は見出されず、イスラエルの中に**邪悪さ**は見られない。彼らの神、【主】は彼らとともにおられ、王をたたえる声が彼らの中にある。

民 25:1 イスラエルはシティムにとどまっていたが、民はモアブの娘たちと淫らなことをし始めた。

23:25 バラクはバラムに言った。「彼らに**呪い**をかけることも**祝福する**ことも、決してしないでください。」

24:1 バラムはイスラエルを**祝福する**ことが【主】の目にかなうのを見て、これまでのようにまじないを求めに行くことをせず、その顔を荒野に向けた。

24:9 雄獅子のように、また雌獅子のように、彼は**身を伏せ**、**横たわる**。だれがこれを起こせるだろう。あなたを**祝福する**者は祝福され、あなたを**のろう**者はのろわれる。」

24:10 バラクはバラムに対して怒りを燃やし、手を打ち鳴らした。バラクはバラムに言った。「私の敵に**呪い**をかけてもらうためにおまえを招いたのに、かえっておまえは三度までも彼らを**祝福した**。」

身を伏せ = カラ ◀ 3766. (כָּרַע) kara 36 回 ▶ ひざまづく (現へ) ひざまづく (NAS)(KJV)(INT)* couches (改 4)身を伏せ

横たわる = ◀ 7901. shakab ▶ Definition: to lie down

呪う = ◀ 779.(ארר) arar 63 回 ▶ 呪う

祝福する = バラク ◀ 1288. (ברך) barak 330 回 ▶ 祝福する 316 回(英)の内 74 回
ほめる(改 4)。

25:1 イスラエルはシティムにとどまっていたが、民はモアブの娘たちと淫らなことをし始めた。

@女への裁き

@ (31 : 15 -) 31:15 モーセは彼らに言った。「あなたがたは、女たちをみな、生かしておいたのか。31:16 ああ、この女たちはバラムの事件のおり、ペオルの事件に関連してイスラエル人をそそのかして、主に対する不実を行なわせた。それで神罰が主の会衆の上にとつたのだ。

25:2 その娘たちが、自分たちの神々のいけにえの食事に民を招くと、民は食し、娘たちの神々を **拝んだ**。

拝んだ = シャハー ◀ 7812. shachah (שחח) (172 回) ▶ ひざまづく、礼拝する、礼をする

(NAS)(KJV)(INT) *bow (改 4) 拝んだ

26:2 「イスラエルの全会衆について、一族ごとに、二十歳以上で、イスラエルで戦に出ることができる者すべての頭数を調べなさい。」

26:3 そこでモーセと祭司エルアザルは、エリコをのぞむヨルダン川のほとりのモアブの草原で、彼らに告げた。

26:4 「【主】がモーセに命じられたように、二十歳以上の者を数えなさい。」エジプトの地から出て来たイスラエルの子らは、

27:14 ツィンの荒野で会衆が争ったとき、あなたがたがわたしの命令に逆らい、

彼らの見ている前で、あの水のところで、わたしが聖であることを現さなかったからである。」これはツィンの荒野のメリバテ・カデシュの水のことである。

@民数記 20:12 しかし、【主】はモーセとアロンに言われた。「あなたがたはわたしを信頼せず、イスラエルの子らの見ている前でわたしが聖であることを現さなかった。それゆえ、あなたがたはこの集会を、わたしが彼らに与えた地に導き入れることはできない。」

民数記 20:13 これがメリバの水である。イスラエルの子らが【主】と争った場所であり、主はご自分が聖であることを彼らのうちに示されたのである。

27:16 「すべての肉なるものの霊をつかさどる神、【主】よ。一人の人を会衆の上に定め、

27:17 彼が、彼らに先立って出て行き、先立って入り、また彼らを導き出し、導き入れるようにしてください。【主】の会衆を、羊飼いのいない羊の群れのようにしないでください。」

27:18 主はモーセに仰せられた。「あなたは神の霊の宿っている人、ヌンの子ヨシュアを取り、あなたの手を彼の上に置け。

申命記 34:9 ヌンの子ヨシュアは知恵の霊に満たされていた。モーセがかつて彼の上にその手を置いたからである。イスラエルの子らは彼に聞き従い、【主】がモーセに命じられたとおりに行った。

27:19 彼を祭司エルアザルの前に、また全会衆の前に立たせ、彼らの目の前で彼を任命せよ。

30:2 男が【主】に誓願をするか、あるいは、物断ちをしようと誓う場合には、自分のことばを破ってはならない。すべて自分の口から出たとおりのことを実

行しなければならぬ。

30:4 その父が彼女の誓願、あるいは物断ちを聞いて、彼女に何も言わなければ、彼女のすべての誓願は有効となる。彼女の物断ちもすべて有効となる。

30:5 しかし、もし父がそれを聞いた日に彼女に反対するなら、彼女の誓願、あるいは物断ちはすべて無効としなければならない。彼女の父が彼女に反対するのであるから、【主】は彼女を赦される。

30:7 夫がそれを聞き、聞いた日に彼女に何も言わなければ、彼女の誓願は有効である。彼女の物断ちも有効となる。

30:8 もし夫がそれを聞いた日に彼女に反対すれば、夫は、彼女がかけている誓願や、物断ちをしようと軽率に言ったことを破棄することになる。そして【主】は彼女を赦される。

30:13 すべての誓願も、自らを戒めるための物断ちの誓いもみな、夫がそれを有効にすることができるし、それを破棄することもできる。

31:8 その殺された者のほかに、彼らはミディアン¹の王たち、すなわち、エウイ、レケム、ツル、フル、レバの五人のミディアン¹の王たちを殺した。また、ベオルの子バラムを剣で殺した。

31:16 よく聞け。この女たちが、バラムの事件の折に、ペオルの事件に関連してイスラエルの子らをそそのかし、【主】を冒瀆させたのだ。それで主の罰が【主】の会衆の上に下ったのだ。

@未信者と結婚しても良いという教えによって神の民は滅びる。

そういった教えによってイスラエルは滅びる

@バラムはイスラエルを呪えなかったが、彼らをそそのかして落とした。サタ

ンはわれわれに何もできないが、われわれをそそのかして罪に落とすことはできる。

31:23 すべて火に耐えるものは、火の中を通せば、きよくなる。ただし、それは汚れを除く水で汚れを除かなければならない。火に耐えないものはみな、水の中を通さなければならぬ。

32:1 ルベン族とガド族は、多くの家畜を持っていた。それは、おびただしい数であった。彼らがヤゼルの地とギルアデの地を見ると、その場所は家畜に適した場所であった。

32:4 【主】がイスラエルの会衆の前で打ち滅ぼされたこれらの地は、家畜に適した地です。そして、しもべどもには家畜がいます。」

32:5 また言った。「もし、私たちの願いがかないますなら、どうか、しもべどもがこの地を所有地として賜りますように。私たちにヨルダン川を渡らせないでください。」

32:7 どうして、イスラエルの子らの意気をくじいて、【主】が与えてくださった地へ渡らせないようにするのか。

@ビジョン半ばで妥協する

32:7 どうして、イスラエルの子らの意気をくじいて、【主】が与えてくださった地へ渡らせないようにするのか。

。33:52 その地の住民をことごとくあなたがたの前から追い払って、彼らの石像をすべて粉碎し、彼らの鑄像をすべて粉碎し、彼らの高き所をすべて打ち壊さなければならぬ。

鑄 = ◀ 4541. maccekah ▶

像 = ◀ 6754. tselem (צֶלֶם)(ツェレム) 17回 ▶ イメージ、姿。 像(民 33:52)(1サム 6:5)

この単語だけでは必ずしも偶像を意味しないが、しばしば偶像の為にも用いられる言葉

創世記 1:26 神は仰せられた。「さあ、人をわれわれの **かたち** として、われわれの似姿に造ろう。こうして彼らが、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」

第1サムエル 6:5 あなたがたの腫物の **像**、つまり、この地を破壊させようとしているねずみの像を造り、それらをイスラエルの神に貢ぎとして献げなさい。もしかしたら神は、あなたがたと、あなたがたの神々、そしてあなたがたの地の上ののしかかっている、その手を軽くされるかもしれません。

人は神の像として造られた。

ある意味人は神の塑像、偶像である。

33:55 もしその地の住民をあなたがたの前から追い払わなければ、あなたがたが残しておく者たちは、あなたがたの目のとげとなり、脇腹の茨となり、彼らはあなたがたが住むその土地であなたがたを苦しめる。

34:3 あなたがたの南側は、エドムに接するツィンの荒野に始まる。南の境界線は、東の方の塩の海の端に始まる。

。

34:14 ルベン部族は一族ごとに、ガド部族も一族ごとに、そしてマナセの半部族も、自分たちの相続地を受け取っているからである。

マナセの半部族=(協共) マナセの部族の半数

半= ◀ 2677. chatsi (חַצִּי)(N)(125 回)▶ 半分 真ん中

35:11 あなたがたは町々を定めて、自分たちのために逃れの町とし、誤って人を打ち殺してしまった殺人者がそこに逃れることができるようにしなければならない。

35:19 血の復讐をする者は、自分でその殺人者を殺してもよい。彼に出くわしたときに、殺してもよい。

出くわす= ◀ 6293.(פגַע) paga 46 回▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす

35:21 または、敵意をもって人を手で打って死なせたなら、その打った者は必ず殺されなければならない。その人は殺人者である。その血の復讐をする者がその殺人者に出くわしたときには、彼を殺してもよい。

出くわす= ◀ 6293.(פגַע) paga 46 回▶ 打つ、攻撃する、達する、交渉する、仕向ける、とりなす

36:6 【主】がツェロフハデの娘たちについて命じられたことは次のとおりである。『彼女たちは、自分が良いと思う人に嫁いでよい。ただし、彼女たちの父の部族に属する氏族に嫁がなければならない。』